

[10_01]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6768583>

出版情報：情報処理教育広報. 10 (1), 1987-07. Educational Center For Information Processing, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



編集後記

◇ 最近のパソコンやワープロの性能向上と価格の低下には目を見張るものがある。購入して1年もたたないうちに旧式になってしまい使いたくなくなる。ところで大型計算機システムでも多少テンポは遅いが似たようなことが起きている。4年前の昭和58年にFACOM M-360を導入した時はいろんな点で新鮮だったが、その後数年で何となく色あせてしまった。昨年10月に導入したFACOM M-380Qと最新のTSS端末F6683A（全端末で日本語と図形をカラーで表示できる）はいまでこそ新鮮に感じるが、この気持ちがあと何年続くだろうか。

◇ 現在、利用者に一般公開しているオペレーティングシステムFACOM OSIV/F4 MSPはVM（仮想計算機）上で稼動している。ところでこの2月からFACOM UTS/Mと呼ばれる別のオペレーティングシステム（富士通製UNIX）がやはりVM上で稼動している。これはかなりまともなUNIXで、できれば一般公開したいと考えているが、現在の状況では新たにUTSのために利用の手引きを準備したり、各種の相談に応じる余裕がない。有志の先生に試用してもらって手引きなどを準備していただけたらと考えているが、いかがなものでしょうか？（N. F.）

◇ 情報処理教育センターに移籍して約2月余り。今期から変更された利用者管理方式の実施に大きなトラブルもなく、ほっとしている。十分なる事前チェックをしていただいた前任者に感謝したい。（T. S.）

◇ 10周年おめでとうございます。センターに密着した編集後記を書いて下さいとのお達示なのでセンター職員とプロ相の皆さんに一言ずつインタビューしてまいりました。

- 人間は十年一昔、大型コンピュータは四年一昔。パソコンは一年一昔、ワープロ半年一昔。十年後はどういうセンターになっていることやら。楽しみでもあり恐ろしくもある。
- 計算機に今まであまり縁がないところで勤務していましたが、教育センターには各部屋に端末があり、機種もたくさんあることを知りました。未だ慣れない計算機の専門用語に四苦八苦しています。早く計算機に慣れて皆さんの仲間入りをしたいと思っていますが、...？
- 先日、仕事で居残ったあと、M-380Qの電源が自動的に落ちてゆくさまを見ました。すでに日暮れてあたりは薄暗く、グリーンディスプレイが明滅し、イルミネーションがきれいです。

そこで1句。

世の中に絶えて計算機の無かりせば 春の心はのどけからまし

（解説）この世に計算機がなかったらどんなにか気が休まるだろう。でも本当は計算機があるから心に楽しみがあるんだよ。

春はちょっとすぎましたから季節が遅れましたが。

- 計算機は人間を超え得るか否か、ということがよく言われていました。以前は脳細胞を素子と

考えれば、超えるとはいかなくても同じくらいの物はできるのではないかと考えていた私も、最近是人間の思考の複雑さと乱雑さに頭をかかえており、このことに関しては否定的になりました。

- マイコンで4日かかった計算がセンターでは2、3分ででた。うーん、僕も下宿にM-380Qを一台置きたい。
- 10周年おめでとうございます。藤村先生始めセンターの方々には、大変お世話になっております。これからも学生の相談を快く引き受けてくれる教育センターであって欲しいと思います。
- お酒もたばこもやらないで毎日働くM-380Qさんに感心します！！
- 最近は新しいアプリケーション・ソフトが入って、いろいろと楽しませてもらっています。これからもよろしくお願いします。

◇ 教育センターで富士通製のUNIX"UTS"を公開できるかどうかは本当に検討中です。公開できるか否かは、ユーザの方の熱意とご支援によるものが大きいと思います。公開されるとしたら、電話回線を通じてパソコンなどとなぐという形になるでしょう。

UNIXにも欠点はあるし、奥が深くてどうもという人もいるので、公開できたら、ぜひともUNIXを使いたい人ががんばって使ってくれるといいなと思います。UNIXは構造がシンプルで使い勝手の良いシステムです。万能ではないけれどソフトウェア開発に向いているのです。UNIXのすばらしさの一つは一人の人のとても優れたアイディアが絶えることなく脈々と受けつがれて、多くの人の協力で改良と変更を重ねながら生き続けている、ということにあります。それはやはりUNIXがよいものだから、ということと、UNIXに関われてうれしい、とか、UNIXの仲間に出会えてうれしい、UNIXの仲間が皆本当はいい人なんだ(?)という不思議な気持ち(使っていると何となくそう思えてくるものなのだ)のためかもしれない。UNIXは昔に比べて巨大になりすぎた。もう昔ほど人の心を動かさなくなっているかもしれないけれど、私にとって(もし言って構わなければ、私たちにとって)やはり明らかな夢であり、1つの希望であり、絶えることなく輝く星のようなもの(少しオーバーかな)でさえあるのです。

もし公開されるならうれしいのですが。最近は個人用のUNIXも出回っています。私個人としてはUNIXの仲間が増えるとうれしいです。(K. I.)

広報の配布を希望される方は、

・氏名 ・職名 ・所属 ・送先 ・電話番号

を記して

〒812 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学情報処理教育センター

電話(092)641-1101 内線2656

まで申し込みください。残り部数によりお送りできない場合があることをお含みください。